

メモリーナビゲーション内蔵 Bluetooth® 7型WVGA AVシステム

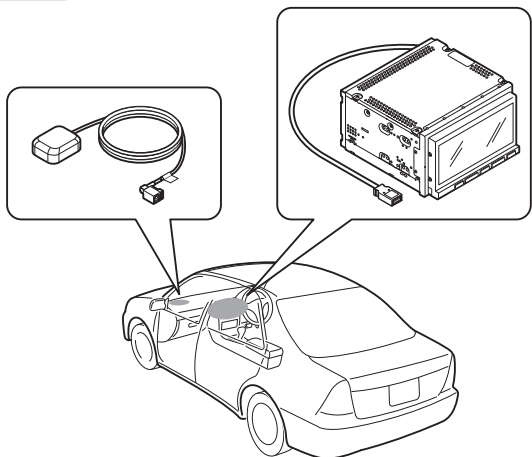
AVN-LBS01

取付説明書

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
 - 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
 - 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
 - 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
 - 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一販売店様へー
- 取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお返しください。

取付概要図



安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

⚠ : しなければならないことを表しています。

⊘ : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

警告

- ① 本機はDC12V(カーアース専用)です。大型トラックや乗用車以外の車両の24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。
- ① 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- ① 本機を次のような場所には取り付けしないでください。本機は、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。
- ⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉を避けることがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。
- ① ドリル等で穴あけ作業をする場合は、コーゲル等の目を保護するものを使用してください。
- ① 破片等が目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- ① 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースをする場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品の使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ① 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ① ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
- ① 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ① 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。そのまますべての機能、事故、火災、事故の原因となります。
- ① 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いが出る等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ① エアバグの動作を妨げる場所は、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。
- ① 車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバグ動作を妨げる場所に取付け、配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の原因となります。
- ① 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源をとることは絶対に止めてください。
- ① 電源コードの被覆を剥き出し、火災、感電の原因となります。
- ① 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
- ① ショートにより火災、感電の原因となります。
- ① コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。
- ① ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。
- ① 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス

知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

⚠ 車体のなな部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

⚠ 雨や吹き込む水、水、油、油分などを十分にふき取ってから取り付けしてください。

⚠ 本機に水や油、埃、油分が浸入すると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

注意

- ① 本機の取り付け、配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ① 雨や吹き込む水、水、油、油分などを十分にふき取ってから取り付けしてください。
- ① 本機に水や油、埃、油分が浸入すると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ① しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。
- ① 本機が外れた際の取扱いや交通事故やケガの原因となることがあります。
- ① しっかりと確実に取り付けしてください。
- ① 走行中の脱着や接続等、交通事故やケガの原因となります。取り付け時の水や油、埃、油分などを十分にふき取ってください。
- ① コードが金属部に触れないように配線してください。
- ① 金属部に接触したコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ① コードの配線は、高温部を避けてください。
- ① コードが車体の高温部に接触すると、発煙や着火の原因となります。
- ① 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所へ取り付けしないでください。
- ① 金属部が高温になり、火傷する可能性があります。
- ① コード類を固定して、ヒューズ等が付いている場合があるため、保護回路が働かず、火災の原因となることがあります。
- ① 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
- ① 配線を動作させるための電源容量が不足して、バッテリーが過熱、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ① コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。
- ① 雨、水、車の内への侵入を防ぐため、コード等の車内への引き込みは十分気を付けて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- ① 本機を車載用として以外には使用しないでください。
- ① 感電やケガの原因となることがあります。
- ① 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
- ① 取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ① 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。
- ① 不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりすることがあります。

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

● 本体関係

① メインユニット ×1	② 電源コード ×1	③ 中継コード ×1
④ 車両信号コード ×1	⑤ AUXコード ×1	⑥ バックカメラコード ×1
⑦ ハンズフリーマイク ×1	⑧ 地図専用microSDカード ×1	⑨ 取り付けねじ (M5×6) ×8
⑩ ショートコネクタ ×6		

● アンテナ関係

⑪ GPSアンテナ ×1

地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。

その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書等の資料類)

作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 4) GPSアンテナを取り付ける (☞ GPSアンテナの取り付け上のご注意) (☞ GPSアンテナの取り付け)
- 5) ハンズフリーマイクを貼り付ける (☞ ハンズフリーマイクの貼り付け (例))
- 6) メインユニットを取り付ける (☞ メインユニットの取り付け)
- 7) バッテリーのマイナス端子を元に戻す
- 8) 設定および動作確認をする (☞ 取り付け後の設定 / 動作確認)

GPSアンテナの取り付け上のご注意

GPSアンテナの取り付け上のご注意を表記しています。必ずよく読んでから作業をおこなってください。

△ 注意

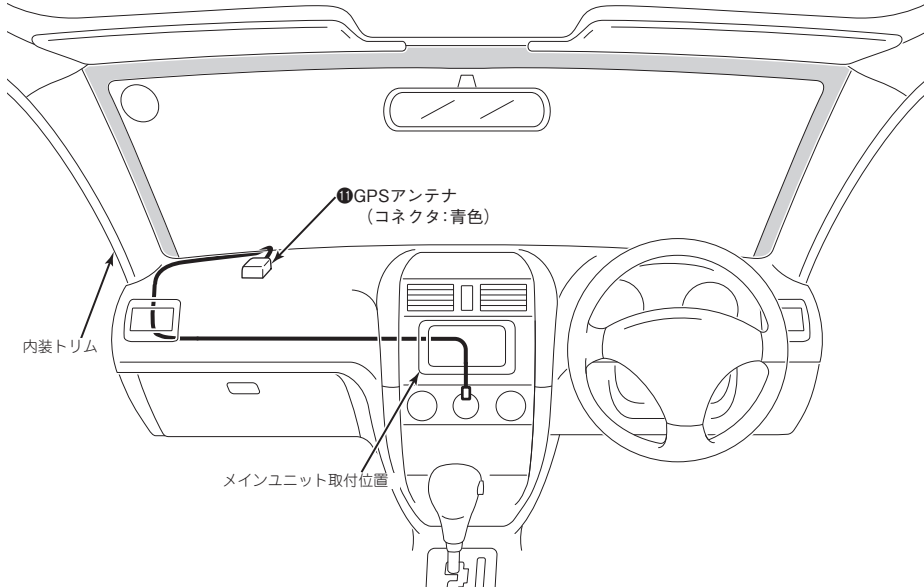
- GPSアンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPSアンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- GPSアンテナに付いている磁石は強力な磁石です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。
- *時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- 本書で指定された通りに接続してください。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
- 必ず指示通りに取り付けしてください。

△ アドバイス

- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPSアンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けください。GPSアンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPSアンテナの貼付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などを十分にふき取ってから取り付けしてください。
- GPSアンテナを取り付ける際、気温が低い(20℃以下)ときやガラスが曇ってしまうときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めながら取り付けしてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

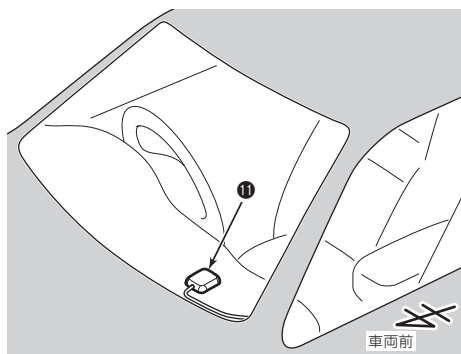
GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- 配線時、内装トリムを取り外します。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります)。



GPSアンテナの取り付け

1 GPSアンテナの貼付位置を決める

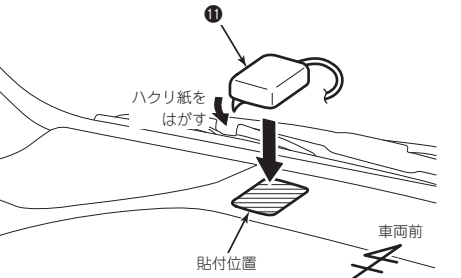


- ① GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

△ アドバイス

- GPSアンテナは、電波の送らに、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 GPSアンテナを貼り付ける

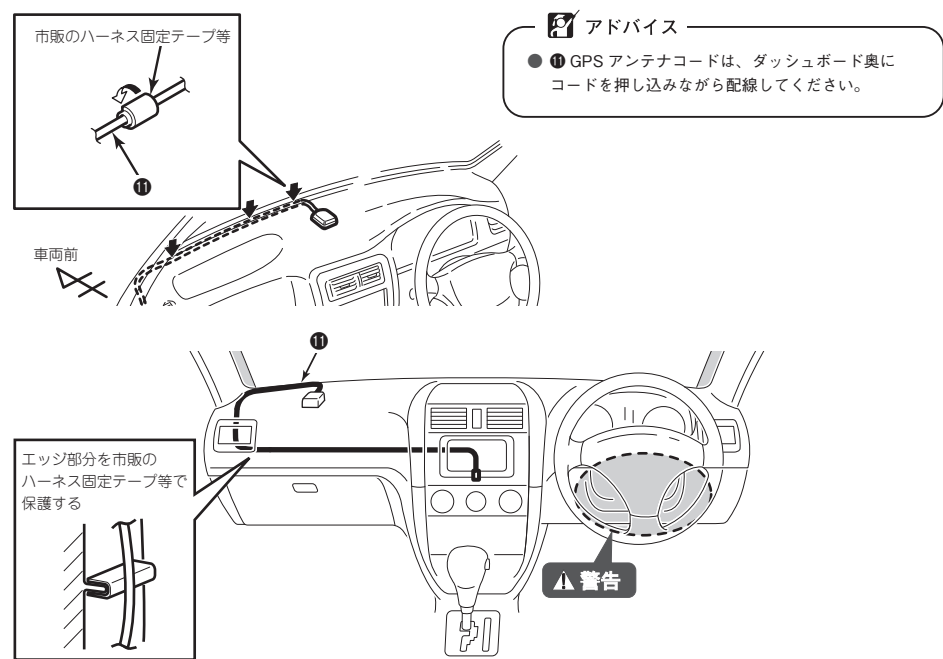


- ① GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードにGPSアンテナを貼り付ける。

△ アドバイス

- GPSアンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

3 GPSアンテナコードを配線する



- ① GPSアンテナコードを市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

△ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

△ 注意

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクラップ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

この資料は、法人向けの資料です。

裏面に記載の内容もよく読み、切り取って大切に保管してください。

ナビゲーション取り付け時の店舗情報の登録

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する

- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確認してから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる



5秒間で10回押す

操作手順

MENU × 10回押す → 「SuperApp」画面を表示

3 店舗情報および返却場所を登録する



* 現在地はカーソル操作などで移動させることができます。

* 詳しい操作方法については、「取扱説明書(ナビゲーション)」(→P.46)を参照ください。

